

## 北区観光振興プラン改定検討会（第2回） 議事要旨

日時	令和4年8月17日（水）15:00～17:00
場所	北とぴあ 9階 902会議室
出席者	検討委員12名出席（うち代理1名）



委員長挨拶



会議の様子



会議の様子

### 議事次第

1. 開会
2. 第1回検討会の振り返り
3. 議事
  - (1) 北区観光振興プラン2023の全体構成について
  - (2) 北区観光振興に向けた重点戦略について
4. 報告事項（改定検討会のスケジュールについて、事業者ヒアリングについて）
5. 閉会

### 配布資料

#### 議事次第

資料1 第1回北区観光振興プラン改定検討会議事要旨

資料2 北区観光振興プラン2023の全体構成について（案）

資料3 北区観光振興プラン2023の基本的な考え方と重点戦略について

資料4 北区観光振興プラン改定検討会のスケジュール

資料5 北区観光振興プラン改定に係る事業者ヒアリングについて

（別紙）北区観光振興プラン改定検討会 委員名簿

参考資料① 河川敷地の更なる民間活用について（荒川下流河川事務所）

参考資料② Mission Statement2022（一般社団法人東京北区観光協会）

### 議事要旨

#### 【第1回検討会の振り返り】

- ・議事要旨について了承。
- ・「公公連携」のキーワードが出され、早速、荒川下流河川事務所にパンフレットを置かせてもらう公公連携の実践につながっている。

#### 【人づくりについて】

##### ○プレーヤー

- ・公民連携の「民」のプレーヤーが見えていないため、広く観光に関わる民のプレーヤーを

どう育成するか、発見するかが課題である。

- ・関係人口の人たちを呼び込み、さらにこの地域で活躍しやすい環境を作っていくことが重要である。
- ・北区の観光をどう推進していくのか、どういうプレーヤーと連携してやっていくかが大事である。プレーヤーの育成という面では、横の連携を強めることが大切である。
- ・人づくりというものは、基本戦略の中で語られるべきである。

#### ○ボランティアガイド（おもてなしの人材育成）

- ・ガイドを募集して新しい人材を集め、ガイドとして育成していく予定である。

#### 【情報発信について】

##### ○情報発信強化の必要性和位置付けの付与

- ・様々な情報ツールが充実している中で、現行プランから進捗が遅れているものが情報発信である。
- ・北区観光振興プランの改定の目的に情報発信力の強化を入れるなど上位で位置づけることが必要である。

##### ○情報発信の工夫

- ・オンライン化も含めて情報発信のやり方の工夫が必要である。
- ・情報発信の形態が変わったことから、ただ情報発信をするだけではなく、専門的な知識を踏まえながら、PCDAを回していくことが重要である。

##### ○情報発信ツール（ガイドマップなど）

- ・情報発信のツールを積極的にどう活用するか、どう運用していくかを考えていくことが必要である。
- ・多種多様なマップづくりをつくっていることは一定の評価はされるが、統一化やシリーズ化するなどの検討が必要である。

#### 【観光大使・北区ファンについて】

##### ○観光大使

- ・しぶさわくんを北区の第1号の観光大使にしたい（観光協会）。
- ・観光大使は、ファンやインフルエンサーと同等の訴求力がある、大事なPRになってくる。
- ・観光大使は、観光協会が任命するよりも、区が任命する方が箔が付くため、策定中でも庁内で連携しながら即時性をもって進めていただきたい。

##### ○北区ファン

- ・北区のファンを集めるのも重要であるが、北区の何かに関わっているファンコミュニティを作ることが重要である。
- ・プラン改訂においては、北区ファンの創出やサポーターの受入れ部分に、観光大使やインフルエンサーについて表現されることが効果的である。

#### 【河川の活用について】

- ・公公連携という形で、北区のシティプロモーションや観光の一助になるということを荒川下流河川事務所の本業として位置づけ、プレーヤーとして積極的に関わりたい。
- ・川というコンテンツは、点であり、線でもある。都心の貴重なオープンスペースとしての機能や川として上下流の繋がり、防災機能など様々な価値があり、それらが北区のシティ

プロモーションになるようなコンテンツづくり、多くの人が河川を訪れ、滞在し、快適に過ごせる場所にする事で、地域経済にも貢献できるような場所にしたい。

#### 【軍事遺産(平和遺構)・近代化産業遺産について】

- ・近代化産業遺産として軍事遺産(平和遺構)に目を背けてはいけない。近代化産業遺産の中に含まれるよう留意してもらいたい。
- ・北区には、陸軍の境界石や砲床など軍事遺産が多く残っているほか荒川放水路もあり、つなぎ合わせていくと北区の歴史を確かめることができる。
- ・それぞれの近代化産業遺産をユニークベニューとして、意外性を持った活用ができるか、実証実験などを繰り返しながらやっていくと良い。

#### 【田端文士村・文化について】

- ・文士村は非常に注目されており、北区では令和6年～7年に芥川邸をつくる予定。
- ・観光のツールになり得るものであり、文化面でも大きなコンテンツになる。
- ・文化をテーマに入れるべきというのは、すごく画期的な話である。

#### 【ウォーカブルなまちづくりについて】

- ・いま北区で特に使われている言葉が、「ウォーカブルなまちづくり」(歩いて楽しいまち)であり、観光と定住を結び付けるに当たって合致する概念である。

#### 【観光とまちづくりについて】

- ・観光の議論をしていると、まちづくりに関わることもあるが、観光というのはツールであり、地域づくりの総仕上げでもある。
- ・観光は、まちづくりと表裏一体で出てくることが多いが、観光の最終的な目的としては、地域全体が良くならなければいけない。

#### 【多様な主体による観光推進について】

- ・区民にどう関わってもらおうかという点で、シビックプライドを醸成していく必要があるが、基本戦略などからやや見えづらい。
- ・もう少し住民を巻き込んでいくことを考えることが必要である。

#### 総括(委員長より議論の特徴的な内容のまとめ)

- ①【情報発信】現行プランから強化するため、プラン改定の目的に位置付けるなど検討する。
- ②【人づくり】オール北区で観光力を高めるという中に含めているが、タイトルとして「人づくり」を加えるか検討する。
- ③【文化】5つのテーマに「文化」を入れるかどうか検討する。文士村は単に文士が集まっていた場所としてではなく、当時の暮らしそのものを売り出すということになる。
- ④【その他追加すべきキーワード】軍事遺産(平和遺構)、観光大使、北区ファン、河川、ウォーカブル、多様な主体の連携など。
- ⑤ 公民連携など、できることはプラン改訂後に取組むのではなく、すぐにできる体制を取っていく。